



2022年4月5日

各位

会社名 株式会社 カルラ  
代表者名 代表取締役社長 井上 善行  
(東証スタンダード市場・コード番号: 2789)  
問い合わせ先 専務取締役 伊藤 真市  
(TEL: 022-351-5888)

## 前年実績値との差異及び剰余金の配当並びに

### 特別損失の計上に関するお知らせ

2022年2月期(2021年3月1日~2022年2月28日)において、通期業績と前期実績との間に差異が生じましたとともに、以下の通り特別損失を計上いたしました。また、これに伴い剰余金の配当を行わないこととさせていただくことになりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 前年実績値との差異について

##### (1) 当期の連結業績と前期実績の差異(2021年3月1日~2022年2月28日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前期連結実績(A)	5,294	△566	△502	△977	△162.76
当期連結実績(B)	5,199	△410	△99	△448	△74.68
増減額(B-A)	△95	156	402	528	—
増減率(%)	△1.8	—	—	—	—

##### (2) 差異の理由

長引く新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発出やまん延防止重点措置の適用、営業時間短縮により、客数並びに売上が大幅に減少いたしました。

この状況を受けて、業務の見直しや適正な人員配置によるコスト削減に取り組んだものの、売上高の落ち込みを補いきれず、上記の通り前期実績との差異が発生いたしました。

なお、本日付で公表いたしました「2022年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

## 2. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上について

当社は、閉店した店舗、収益性の低下が見られた店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失として第4四半期で233百万円、通期で258百万円を特別損失に計上することといたしました。

## 3. 剰余金の配当について

当社は、株主への利益還元を経営上の重要政策のひとつとして位置づけ、安定した配当の維持を基本方針としております。

しかしながら、上記の通り厳しい業績となったことから、誠に遺憾ではございますが、2022年2月28日を基準とする剰余金の配当については、行わないこととさせていただくことといたしました。

	決定額	直近の配当予想 (2022年1月5日公表)	前年実績 (2021年2月期)
基準日	2022年2月28日	同左	2021年2月28日
1株当たり配当金	0.00	未定	0.00
配当金の総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

以上